

サーリネンとフィンランドの美しい建築

ELIEL SAARINEN

AND HIS BEAUTIFUL ARCHITECTURE IN FINLAND

いわき市立美術館

Iwaki City Art Museum

2021.11.6 Sat. -12.19 Sun.

休館日：月曜日

開館時間：9:00 - 17:00 (入場は16:30まで)

■新型コロナウイルスの影響により、フィンランドの各館で所蔵されている図面は、原図とあるもの以外、90%縮小の高精細複製で展示しております。一部は80%縮小(1-41、1-42、1-43)および75%縮小(4-20、4-21、4-22、4-24)のものがあります。

■会期中一部展示替えを行います。

1-26 (前期：11月6日 - 11月27日のみ展示)

1-27 (後期：11月28日 - 12月19日のみ展示)

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	素材・技法	所蔵先
プロローグ サーリネンの建築理念を育んだ森と湖の国、フィンランド						
P-01	-	建築家エリエル・サーリネン	-	原板：12.0×9.0	写真	フィンランド文化遺産局
P-02	撮影：ヤリ・イェツォネン	ユホとセルマ・サーリネン夫妻の別荘 海岸からのヴィラ・プルカンランタの眺め	2005年	-	写真	ヤリ・イェツォネン
P-03	撮影：ヤリ・イェツォネン	ヴオリオ邸 塔からの海の眺め	2013年	-	写真	ヤリ・イェツォネン
P-04	撮影：ヤリ・イェツォネン	真冬のヴィットゥールブ	2009年	-	写真	ヤリ・イェツォネン
P-05	撮影：ヤリ・イェツォネン	空から見た雪景色のヴィトレスク	2021年	-	写真	ヤリ・イェツォネン
民族叙事詩カレワラ-作品創造の源泉として						
P-06	アクセリ・ガレン=カレラ	クッセルヴォの呪い	1896年	21.5×11.5	エッチング、紙	ガレン=カレラ美術館
P-07	アクセリ・ガレン=カレラ	レンミンカイネンの母	1905年	14.0×18.0	エッチング・ドライポイント、紙	ガレン=カレラ美術館
P-08	アクセリ・ガレン=カレラ	挿絵本『カレワラ』屏絵のためのドローイング 第31・32・33章	1922年	23.0×15.0、 23.5×15.5、23.0×15.5	インク、紙	ガレン=カレラ美術館
P-09	アクセリ・ガレン=カレラ	挿絵本『カレワラ』屏絵のためのドローイング 第22・24章	1922年	各およそ24.0×15.5	インク、紙	ガレン=カレラ美術館
P-10	アクセリ・ガレン=カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第2章	1925年	各52.0×33.0	水彩、紙	ガレン=カレラ美術館
P-11	挿画とデザイン：アクセリ・ガレン=カレラ	挿絵本『カレワラ』（初版特装版）	1922年	22.5×16.2×5.0	木版・印刷、紙、革装	個人蔵（キュレイターズ）
P-12	挿画とデザイン：アクセリ・ガレン=カレラ	挿絵本『カレワラ』（1941年版）	1941年	23.0×15.0×5.4	印刷、紙	個人蔵（キュレイターズ）
P-13	-	ポホヨラ保険会社ビルディング 正面入口のディテール	2011	-	写真	個人蔵（キュレイターズ）
第1章 フィンランド独立運動期-ナショナル・ロマンティシズムの旗手として						
バリ万博フィンランド館						
1-01	デザイン：アクセリ・ガレン=カレラ	イーリスチェア	1899年	112.0×56.0×60.0	木、織布	ガレン=カレラ美術館
1-02	デザイン：アクセリ・ガレン=カレラ	イーリスの間の壁掛け「雷鳥」	1899年	43.0×207.0	毛織物	フィンランド・デザイン・ミュージアム
1-03	アクセリ・ガレン=カレラ	ヴァニタス	1900年	25.0×31.0	グアッシュ、紙	ガレン=カレラ美術館
1-04		1900年バリ万国博覧会でガレン=カレラに贈られたメダル	1900年頃	メダル：φ6.5、箱： 8.5×8.5×1.5	金属、紙とシルクの箱	ガレン=カレラ美術館
1-05	デザイン：アクセリ・ガレン=カレラ	イーリスの間の伝統織物ルイユ「炎」	1899 / 1984年 (再制作)	250.0×175.0	毛織物、麻	フィンランド・デザイン・ミュージアム
1-06	デザイン：アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	蓋つき容器	1897年頃	11.0×12.8	赤土、泥漿、化粧掛け、釉薬 製作：イーリス工房	フィンランド・デザイン・ミュージアム
1-07	デザイン：アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	クリーマー	1897年頃	高さ7.6、φ5.8	赤土、泥漿、化粧掛け、釉薬 製作：イーリス工房	フィンランド・デザイン・ミュージアム
1-08	デザイン：アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	ポウル	1897年頃	高さ6.5、φ14.1	赤土、泥漿、化粧掛け、釉薬 製作：イーリス工房	フィンランド・デザイン・ミュージアム
1-09	デザイン：アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	花瓶	1897年頃	高さ10.3、φ(底)6	赤土、泥漿、化粧掛け、釉薬 製作：イーリス工房	フィンランド・デザイン・ミュージアム
1-10	デザイン：アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	カップ&ソーサー	1901年	カップ：高さ4.5、φ10、 ソーサー：高さ5、φ14.5	赤土、泥漿、釉薬、化粧掛け 製作：イーリス工房、ボルヴォー窯	フィンランド・デザイン・ミュージアム
1-11	デザイン：アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	蓋つき鍋	1900年	9.5×32	赤土、泥漿、釉薬、化粧掛け 製作：イーリス工房、ボルヴォー窯	フィンランド・デザイン・ミュージアム
1-12	デザイン：ヴァイノ・プロムステット	クッション・カバー	1900年	38×58	羊毛フェルト、刺繍 製作：フィンランド手工芸協会	フィンランド・デザイン・ミュージアム
1-13	デザイン：ヴァイノ・プロムステット	クッション・カバー	1900年	31.5×42	羊毛フェルト、刺繍 製作：フィンランド手工芸協会	フィンランド・デザイン・ミュージアム
1-14		1900年バリ万国博覧会フィンランド館再現CG映像	2012年	6分55秒	映像 ディレクションと制作：リリー・ディアス=コンモネン	アアルト大学 芸術・デザイン・建築表現システム 研究グループ
1-15		1900年バリ万国博覧会フィンランド館 模型	2021年	16.0×36.0×46.0 (縮尺1:100)	木、金属、樹脂 諏佐遥也 (Zouzuo model)	
1-16		1900年バリ万国博覧会フィンランド館	1900年	原板：16.0×11.0	写真	ラハティ市立博物館
1-17		1900年バリ万国博覧会フィンランド館内部とその建設スタッフ	1900年	原板：27.2×20.8	写真	フィンランド建築博物館
1-18		1900年バリ万国博覧会フィンランド館のイーリスの間	1900年	原板：12.0×17.0	写真	フィンランド建築博物館
1-19		イーリスの間に展示されたフィンランド手工芸協会の作品	1900年	原板：12.0×17.0	写真	フィンランド文化遺産局

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	素材・技法	所蔵先
1-20	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	「イシドール」フィンランド館設計競技第一等案 (Le Journal de l'Industrie de Finlande 所収)	1898年	原図：14.8×22.0 (縮尺不明)	モノクロ掲載誌の高精細複製 (オリジナルは消失)	フィンランド建築博物館
1-21	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	「イシドール」フィンランド館設計競技第一等案 (Le Journal de l'Industrie de Finlande 所収)	1898年	原図：14.5×21.8 (縮尺不明)	モノクロ掲載誌の高精細複製 (オリジナルは消失)	フィンランド建築博物館
1-22	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	「イシドール」フィンランド館設計競技第一等案 (Le Journal de l'Industrie de Finlande 所収)	1898年	原板：14.2×22.2 (縮尺不明)	モノクロ掲載誌の高精細複製 (オリジナルは消失)	フィンランド建築博物館
1-23	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	1900年パリ万国博覧会フィンランド館の椅子「カバノキ」のスケッチ	1899年	不詳	高精細複製 (原図：墨、紙)	ガレン＝カレラ美術館 (オリジナルは個人蔵)
1-24	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	1900年パリ万国博覧会フィンランド館のキャビネット「カバノキ」のスケッチ	1899年	不詳	高精細複製 (原図：墨、紙)	ガレン＝カレラ美術館 (オリジナルは個人蔵)
1-25		アルペール・レヴィ編『アール・エ・デコラシオン (芸術と装飾)』	1900年7月	30.0×24.0×4.0	印刷、紙・書籍 出版：Librairie centrale des Beau-Arts, Paris	東京大学 工学・情報理工学図書館 工1号館図書室B
1-26		『千九百年巴里万国博覧会臨時博覧会事務局報告』(上)	1902 (明治35)年3月	26.5×18.5×6.6	印刷、紙・書籍 出版：農商務省	東京文化財研究所
1-27		『千九百年巴里万国博覧会臨時博覧会事務局報告』(下)	1902 (明治35)年3月	26.5×18.5×6.0	印刷、紙・書籍 出版：農商務省	東京文化財研究所
		1900年パリ万国博覧会今昔マップ			制作：京都工芸繊維大学2020年度地域貢献プロジェクト「20世紀の幕開け—1900年パリ万国博覧会と京都高等工芸学校の教育」(主催：京都工芸繊維大学美術工芸資料館・福知山市佐藤太清記念美術館)	京都工芸繊維大学美術工芸資料館
ボホヨラ保険会社ビルディング						
1-28	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ボホヨラ保険会社ビルディング 立面図アレクサンテリン通り側の正面	1899-1902年	原図：60.0×90.0 (縮尺不明)	高精細複製 (原図：インク・水彩、紙)	フィンランド建築博物館
1-29	-	ボホヨラ保険会社ビルディング	-	-	写真	フィンランド建築博物館
1-30	-	ボホヨラ保険会社ビルディングアレクサンテリン通り側の正面入口	-	-	写真	フィンランド建築博物館
1-31	-	ボホヨラ保険会社ビルディング1階執務室のドア	-	原板：42.0×28.7	写真	フィンランド建築博物館
1-32	-	ボホヨラ保険会社ビルディング中央らせん階段	-	-	写真	フィンランド建築博物館
1-33	-	ボホヨラ保険会社ビルディング中央らせん階段柱の装飾	-	原板：30.9×24.6	写真	フィンランド建築博物館
1-34	-	ボホヨラ保険会社ビルディング玄関ホールと中央階段	-	-	写真	フィンランド建築博物館
1-35	-	ボホヨラ保険会社ビルディング正面入り口のドア	-	-	写真	ヘルシンキ市博物館
1-36, 37, 38	-	ボホヨラ保険会社ビルディングヒルダ・フローレンによる持ち送り彫刻	-	-	写真	ヘルシンキ市博物館
フィンランド国立博物館						
1-39	エリエル・サーリネン	「カール12世」フィンランド国立博物館設計競技第一等案 透視図	1902年	-	高精細複製 (原図のモノクロコピー)	フィンランド建築博物館 (オリジナルは国立アーカイブ所蔵)
1-40	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	フィンランド国立博物館 南東側ファサード 立面図	1904年	90.3×139.8 (縮尺1:66.66)	鉛筆・インク・水彩、紙	フィンランド文化遺産局
1-41	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	フィンランド国立博物館 平面図	1904年	原図：91.0×141.0 (縮尺1:250)	高精細複製 (原図：鉛筆・インク・水彩、紙)	フィンランド文化遺産局
1-42	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	フィンランド国立博物館1階平面図	1904年	原図：92.0×141.0 (縮尺1:100)	高精細複製 (原図：鉛筆・インク・グアッシュ・水彩、紙)	フィンランド文化遺産局
1-43	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	フィンランド国立博物館 断面図	1904年	原図：92.0×141.0 (縮尺1:100)	高精細複製 (原図：鉛筆・インク・水彩、紙)	フィンランド文化遺産局
1-44	-	フィンランド国立博物館	1930年代初期	原板：30.4×42.0	写真	フィンランド建築博物館
1-45	-	フィンランド国立博物館 外壁レリーフ「ボートに乗る人々」	1980年頃	原板：27.5×42.0	写真	フィンランド建築博物館
1-46	-	フィンランド国立博物館 エーミル・ウィークストロムによるクマの彫像	-	-	写真	個人蔵 (キュレイターズ)
1-47	-	フィンランド国立博物館 ガレン＝カレラによるプレスコ画カレワラ	-	-	写真	フィンランド文化遺産局
第2章 ヴイトレスクでの共同制作—理想の芸術家コミュニティの創造						
2-01	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ヴィトレスク サーリネン邸 リビングルームの断面図 (左は東方向、右は北方向を見ている)	1902年	原図：56.0×99.5 (縮尺1:50)	高精細複製 (原図：インク・水彩、厚紙)	フィンランド建築博物館
2-02	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ヴィトレスク サーリネン邸 断面図	1902年	原図：56.0×99.5 (縮尺1:50)	高精細複製 (原図：インク・水彩、厚紙、縮尺1:50)	フィンランド建築博物館
2-03	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ヴィトレスク サーリネン邸とリンドグレン邸の立面図 (湖側の西立面)	1902年	原図：56.5×133.0 (縮尺1:50)	高精細複製 (原図：インク・水彩、厚紙)	フィンランド建築博物館
2-04	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ヴィトレスク リンドグレン邸 北立面 (左)、スタジオの断面が見えるリンドグレン邸 南妻面 (右)	1902年	原図：56.5×99.0 (縮尺1:50)	高精細複製 (原図：インク・水彩、厚紙)	フィンランド建築博物館
2-05	-	建築当初のヴィトレスク 展望塔のあるリンドグレン邸 中庭側	-	-	写真	フィンランド建築博物館
2-06	-	ヴィトレスク サーリネン邸 中庭側	-	-	写真	個人蔵 (キュレイターズ)
2-07	-	ヴィトレスク 中庭のあずまや	-	-	写真	個人蔵 (キュレイターズ)
2-08	-	左からリンドグレン、サーリネン、ゲセリウス (友人の女性建築家アルベルティナ・オストマンと)	-	原板：4.1×7.4	写真	フィンランド文化遺産局
2-09	-	建築家ヘルマン・ゲセリウス	-	原板：12.0×9.0	写真	フィンランド文化遺産局
2-10	-	建築家アルマス・リンドグレン	-	原板：17.7×12.8	写真	フィンランド文化遺産局

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	素材・技法	所蔵先
2-11	-	ヴィトレスクにて、サーリネン一家(左から長女ピプサン、妻ロヤ、長男エーロ、エリエル・サーリネン)	1914年頃	-	写真	クラムブルック・アーカイヴ
再現展示 ダイニングルーム						
2-12	デザイン: エリエル・サーリネン 製作: ニコライ・プーマン蒸気木工工場	アームチェア	1918年	86.0×57.0×55.0	オーク・革	フィンランド国立博物館
2-13	デザイン: エリエル・サーリネン 製作者不詳	アームチェア	1902-1903年	82.0×50.0×49.0	バーチ	フィンランド国立博物館
2-14	-	ヴィトレスク サーリネン邸のダイニングルーム	-	-	写真	フィンランド文化遺産局
2-15	-	ヴィトレスク サーリネン邸のダイニングルーム ロヤ・サーリネンによる彫刻	-	-	写真	フィンランド文化遺産局
メインルーム						
2-16	デザイン: おそらくエリエル・サーリネン	枝付き燭台	1903年	27.5×31.3、φ8.5 (土台)	鉄・錬鉄 製作: アレクサンダー・ハートマン	フィンランド国立博物館
2-17	デザイン: おそらくエリエル・サーリネン	燭台	1903年	35.3×15.0、φ8.5 (上部)	鉄・錬鉄 製作: アレクサンダー・ハートマン	フィンランド国立博物館
2-18	デザイン: エリエル・サーリネン	アームチェア	1905-1906年	115.0×61.0×62.0	オーク・革 製作: ニコライ・プーマン蒸気木工工場	フィンランド国立博物館
2-19	デザイン: エリエル・サーリネン	椅子	1918-1925年	95.0×46.0×53.0	オーク 製作: ケラヴァ木工工場	フィンランド国立博物館
2-20	デザイン: おそらくエリエル・サーリネン	手付き燭台	1903/1972年 (複製)	18.0×19.5、φ17.8 (土台)	鉄・錬鉄 製作者不詳	フィンランド国立博物館
2-21	-	ヴィトレスク サーリネン邸のリビングルーム ガレン=カレラによる伝統織物リュウ《炎》が見える	-	-	写真	フィンランド建築博物館
2-22	-	ヴィトレスク サーリネン邸のリビングルーム ガレン=カレラによる伝統織物リュウ《炎》	-	原板: 6.0×6.0	写真	フィンランド建築博物館
スタジオと図書室						
2-23	デザイン: エリエル・サーリネン	枝付き燭台	1903年	26.5×47.2、φ14.3 (土台)	鉄・錬鉄 製作: アレクサンダー・ハートマン	フィンランド国立博物館
2-24	-	ヴィトレスク スタジオ(左からフランス・ナイベルグ、長女ピプサン、エリエル・サーリネン)	-	-	写真	フィンランド建築博物館
2-25	-	ヴィトレスク スタジオのエリエル・サーリネンとフランス・ナイベルグ、後ろに長男エーロ・サーリネン	-	原板: 18.0×24.0	写真	フィンランド文化遺産局
2-26	-	ヴィトレスク スタジオ	-	-	写真	フィンランド文化遺産局
2-27	エーリック・O.W. エールストロム	ヴィトレスク スタジオの暖炉	1902/1971年 (再制作)	-	写真	フィンランド文化遺産局
寝室						
2-28	デザイン: エリエル・サーリネン	ヴィトレスク サーリネン邸の寝室の椅子	1902-1903年頃	100.0×48.0×49.0	木に彩色、テキスタイル 製作: おそらくフィンランド手工芸協会	フィンランド国立博物館
2-29	デザイン: エリエル・サーリネン	ナイトテーブル	1903年	67.2×47.0×34.5	木に彩色 製作: おそらくフィンランド手工芸協会	フィンランド国立博物館
2-30	-	ヴィトレスク サーリネン邸の寝室	-	原板: 9.0×12.0	写真	フィンランド文化遺産局
インテリア						
2-31	デザイン: エリエル・サーリネン	リキュールグラス	1910年代	高さ11.2、φ6.0	ガラス 製作者不詳	フィンランド国立博物館
2-32	デザイン: エリエル・サーリネン	赤ワイングラス	1910年代	高さ17.0、φ8.8	ガラス 製作者不詳	フィンランド国立博物館
2-33	デザイン: エリエル・サーリネン	白ワイングラス	1910年代	高さ13.2、φ10.0	ガラス 製作者不詳	フィンランド国立博物館
2-34	デザイン: エリエル・サーリネン	シャンパングラス	1910年代	高さ16.5、φ10.0	ガラス 製作者不詳	フィンランド国立博物館
2-35	デザイン: ロヤ・サーリネン	装飾のあるクッション	1908/1959年 (再制作)	59.0×68.0×約20.0	レース、麻 製作者不詳	フィンランド国立博物館
2-36	デザイン: ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン	オープンのタイル断片	1900年代	35.3×28.5×7.5	陶器、釉薬 製作: ウィル・アンデステン工場有限責任会社	フィンランド国立博物館
2-37	デザイン: ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン	オープンのタイル断片	1900年代	29.2×14.0×7.5	陶器、釉薬 製作: ウィル・アンデステン工場有限責任会社	フィンランド国立博物館
2-38	デザイン: ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン	オープンのタイル断片	1900年代	15.5×16.0×16.0	陶器、釉薬 製作: ウィル・アンデステン工場有限責任会社	フィンランド国立博物館
2-39	デザイン: ロヤ・サーリネン	カーペット	1900年代	15.5×16.0×16.0	テキスタイル、ウール、麻 製作者不詳	フィンランド国立博物館
2-40	-	ヴィトレスク サーリネン邸の「バラの部屋」(長女ピプサンの部屋)	-	原板: 18.0×24.0	写真	フィンランド文化遺産局
2-41	-	ヴィトレスク サーリネン邸の子ども部屋	-	-	写真	個人蔵(キュレイターズ)
2-42	-	ヴィトレスク サーリネン邸のサンルーム	-	-	写真	フィンランド文化遺産局
2-43	-	ヴィトレスク サーリネン邸テラスのロヤ・サーリネン	撮影: 1910-1919年頃	原板: 42.5×27.0	写真	フィンランド国立博物館
第3章 住宅建築-生活デザインの洗練						
ヴォリオ邸						
3-01	-	ヴォリオ邸	-	原板: 42.0×32.5	写真	フィンランド建築博物館
3-02	-	海から見た雪景色のヴォリオ邸	撮影: 2013年、ヤリ・イェツォネン	-	写真	ヤリ・イェツォネン
ウーロフスボリ集合住宅・商業ビルディング						
3-03	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ウーロフスボリ集合住宅・商業ビル カウピア通り側立面図	1900年	原図: 25.5×31.5 (縮尺不詳)	高精細複製(原図 インク、水彩、厚紙)	フィンランド建築博物館
3-04	-	ウーロフスボリ集合住宅・商業ビル	-	原板: 29.7×22.0	写真	フィンランド建築博物館
3-05	-	ウーロフスボリ集合住宅・商業ビル 階段	-	原板: 42.0×31.7	写真	フィンランド建築博物館

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	素材・技法	所蔵先
3-06	-	ウーロフスボリ集合住宅・商業ビル	-	-	写真	個人蔵 (キュレイターズ)
3-07	-	ウーロフスボリ集合住宅・商業ビル 中庭	-	-	写真	個人蔵 (キュレイターズ)
3-08	-	ウーロフスボリ集合住宅・商業ビル 正面玄関ディテール	-	-	写真	個人蔵 (キュレイターズ)
3-09	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	ウーロフスボリ集合住宅・商業ビル 3階から5階の平面図	1900年	-	高精細複製 (オリジナルは消失か)	フィンランド建築博物館
エオル集合住宅・商業ビルディング						
3-10	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	エオル集合住宅・商業ビル ルオツィ通り側ファサードの立面図	1901年	原図: 63.5×99.7 (縮尺 1:66.66)	高精細複製 (原図 インク、水彩、色画用紙)	フィンランド建築博物館
3-11	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	エオル集合住宅・商業ビル 平面図	1901年	原図: 24.5×25.5 (縮尺 1:66.66)	高精細複製 (原図 インク、厚紙)	フィンランド建築博物館
3-12	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	エオル集合住宅・商業ビル ダイニングの家具図面	1904年	原図: 56.7×96.7 (縮尺 1:20)	デジタル画像による複製図面 (原図 インク、水彩、厚紙)	フィンランド建築博物館
3-13	-	エオル集合住宅・商業ビル	-	原板: 42.0×31.3	写真	フィンランド建築博物館
3-14	-	エオル集合住宅・商業ビル	-	-	写真	個人蔵 (キュレイターズ)
3-15	-	エオル集合住宅・商業ビル ルオツィ通り側の扉	-	-	写真	個人蔵 (キュレイターズ)
3-16	-	エオル集合住宅・商業ビル ドアと廊下花の模様のある廊下壁面装飾	-	-	写真	ヘルシンキ市博物館
3-17	-	エオル集合住宅・商業ビル 階段	-	-	写真	ヘルシンキ市博物館
スール=メリヨキ荘						
3-18	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	スール=メリヨキ荘 南側立面図	1902年	原図: 64.0×104.0 (縮尺 1:66.66)	高精細複製 (原図 インク・水彩、紙)	フィンランド建築博物館
3-19	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	スール=メリヨキ荘 立面図と断面図習作	不詳	原図: 65.0×113.0 (縮尺不明)	高精細複製 (原図 インク・水彩、紙)	フィンランド建築博物館
3-20	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	スール=メリヨキ荘 1階平面図	1901年	原図: 64.0×104.0 (縮尺不明)	高精細複製 (原図 インク・水彩、紙)	フィンランド建築博物館
3-21	エリエル・サマリネン	スール=メリヨキ荘 図書室の透視図	1903年	原図: 46.0×66.5	高精細複製 (原図 インク・水彩、紙)	フィンランド建築博物館
3-22	エリエル・サマリネン	スール=メリヨキ荘 暖炉のあるロビーのスケッチ	1902年	原図: 48.5×45.5	高精細複製 (原図 インク・水彩、紙)	フィンランド建築博物館
3-23	エリエル・サマリネン	スール=メリヨキ荘 広間の透視図	1902年	原図: 46.0×46.0	高精細複製 (原図 インク・水彩、紙)	フィンランド建築博物館
3-24	エリエル・サマリネン	スール=メリヨキ荘 広間の透視図	1902年	原図: 46.0×46.0	高精細複製 (原図 インク・水彩、紙)	フィンランド建築博物館
3-25	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	スール=メリヨキ荘 リビングルームの暖炉のドローイング	1903年	原図: 42.0×58.0	デジタル画像による複製 (原図 設計用インク、水彩、厚紙)	フィンランド建築博物館
3-26	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	スール=メリヨキ荘 吊り型ランプの図面	1903年	原図: 50.5×39.5 (縮尺不明)	高精細複製 (原図 インク・水彩、紙)	フィンランド建築博物館
3-27	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	スール=メリヨキ荘 図書室のカーペットとソファのドローイング	1903年	原図: 51.0×39.0 (縮尺不明)	デジタル画像による複製 (原図 設計用インク、水彩、厚紙)	フィンランド建築博物館
3-28	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	スール=メリヨキ荘のための家具の設計図、メインホールの椅子、テーブル、カーペット	1903年	原図: 43.0×54.0 (縮尺不明)	高精細複製 (原図 インク・水彩、紙)	フィンランド建築博物館
3-29	-	森の中のスール=メリヨキ荘	-	原板: 50.4×76.3	写真	フィンランド建築博物館
3-30	-	スール=メリヨキ荘	-	原板: 53.7×76.3	写真	フィンランド建築博物館
3-31	-	スール=メリヨキ荘	-	-	写真	フィンランド建築博物館
3-32	-	スール=メリヨキ荘 広間	-	-	写真	フィンランド建築博物館
ヴィットゥールプ荘						
3-33	エリエル・サマリネン	ヴィットゥールプ荘 インテリアのドローイング	1902年	59.0×58.0	水彩、紙	フィンランド・デザイン・ミュージアム
3-34	-	ヴィットゥールプ荘 扉	-	原板: 22.7×15.8	写真	フィンランド建築博物館
3-35	-	ヴィットゥールプ荘 室内	-	-	写真	ヘルシンキ市博物館
3-36	-	森の中のヴィットゥールプ荘	-	原板: 41.7×42.0	写真	フィンランド建築博物館
暮らしのデザイン						
3-37	デザイン: エリエル・サマリネン	椅子「コティ」	1897年	132.0×68.0×63.0	オーク、ウールのピロード 製作: フィッティネン村の家具職人	フィンランド・デザイン・ミュージアム
3-38	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	家具シリーズ「コティ」のドローイング	1897年	31.0×43.4	水彩、紙	フィンランド・デザイン・ミュージアム
3-39	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	家具シリーズ「コティ」のドローイング	1897年	31.0×43.4	水彩、紙	フィンランド・デザイン・ミュージアム
3-40	ゲセリウス・リンドグレン・サマリネン建築設計事務所	家具シリーズ「コティ」のドローイング	1897年	31.0×43.4	水彩、紙	フィンランド・デザイン・ミュージアム
3-41	デザイン: エリエル・サマリネン	テーブルナブキン	1897年	48.6×45.0	テキスタイル、ダマスクリネン 製作者不詳	フィンランド国立博物館
3-42	デザイン: エリエル・サマリネン	テーブルナブキン	1897年	42.0×49.5	テキスタイル、ダマスクリネン 製作者不詳	フィンランド国立博物館
3-43	デザイン: エリエル・サマリネン	名前いりパッチワーク	1897年	18.5×28.0	テキスタイル、ダマスクリネン 製作者不詳	フィンランド国立博物館
3-44	デザイン: エリエル・サマリネン	バラのテーブルクロス	1904年	120.0×130.0	ウール、フェルト、シルク 製作: サマリネン婦人 (サマリネンの姉妹)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
3-45	エリエル・サマリネン	テーブルクロスのスケッチ	1904年	23.5×24.5	鉛筆、紙	フィンランド・デザイン・ミュージアム
3-46	デザイン: エリエル・サマリネン	ドアカーテン	1904年	225.0×129.0	ウールフェルト、刺繍 製作: フィンランド手工芸協会	フィンランド・デザイン・ミュージアム
3-47	エリエル・サマリネン	カーテンのスケッチ	1904年	40.5×32.0	水彩、紙	フィンランド・デザイン・ミュージアム

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	素材・技法	所蔵先
3-48	エリエル・サーリネン	バラのタペストリーのスケッチ	1904年	40.5×32.0	水彩、紙	フィンランド・デザイン・ミュージアム
3-49	デザイン: エリエル・サーリネン	バラの刺繍のテーブルクロス	おそらく20世紀初頭	105.0×100.5	テキスタイル、麻 製作者不詳	フィンランド国立博物館
3-50	デザイン: エリエル・サーリネン	バラの刺繍のクッションカバーまたはティーポットカバー	1904-1920年	39.0×43.0	テキスタイル、麻 製作者不詳	フィンランド国立博物館
3-51	エリエル・サーリネン	クッションのスケッチ	1905年	30.5×33.5	水彩、紙	フィンランド・デザイン・ミュージアム
3-52	デザイン: エリエル・サーリネン	カイルクネル邸のドアカーテン	1918年	210.0×85.0	ウール、コットン、ビスコースレーヨン 製作: フィンランド手工芸協会	フィンランド・デザイン・ミュージアム
第4章 大規模公共プロジェクト						
ヘルシンキ中央駅						
4-01	デザイン: エリエル・サーリネン	駅のレストランの椅子	1908-1909年	92.0×45.0×50.0	オーク、革張り、金属鋸 製作者不詳	フィンランド・デザイン・ミュージアム
4-02	デザイン: エリエル・サーリネン	駅のレストランのアームチェア	1908-1909年	91.0×64.5×53.0	オーク、ウール張り、金属鋸 製作者不詳	フィンランド・デザイン・ミュージアム
4-03	デザイン: エリエル・サーリネン	駅のレストランのテーブル	1908-1909年	74.0×78.5×78.0	オーク、大理石 製作者不詳	フィンランド・デザイン・ミュージアム
4-04	デザイン: エリエル・サーリネン	ハートモチーフの椅子	1908年	82.0×56.0×56.0	オーク 製作者不詳	フィンランド・デザイン・ミュージアム
4-05	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ヘルシンキ中央駅 正面透視図	1904-1914年頃	原図: 59.0×131.0	高精細複製 (原図 鉛筆、紙)	フィンランド建築博物館
4-06	エリエル・サーリネン	ヘルシンキ中央駅 皇帝用待合室透視図	不詳	原図: 43.5×43.5	高精細複製 (原図 製図用インク、水彩、紙)	フィンランド建築博物館
4-07	エリエル・サーリネン	ヘルシンキ中央駅 待合室透視図	1910年	原図: 19.0×35.5	高精細複製 (原図 製図用インク、茶紙)	フィンランド建築博物館
4-08	エリエル・サーリネン	ヘルシンキ中央駅 大コンコースの透視図	1913年	原図: 48.5×56.0	高精細複製 (原図 インク、茶紙)	フィンランド建築博物館
4-09	-	ヘルシンキ中央駅	-	原版: 23.2×30.8	写真	フィンランド建築博物館
4-10	-	夜のヘルシンキ中央玄関 エーミル・ウィークストロムによる彫像《ランタンを持つ人》	-	-	写真	フィンランド建築博物館
4-11	-	ヘルシンキ中央駅 レストラン	-	-	写真	フィンランド建築博物館
国会議事堂計画案						
4-12	エリエル・サーリネン	国会議事堂設計競技応募案 正面立面図	1908年	原図: 34.5×51.5 (縮尺不明)	高精細複製 (原図 鉛筆、紙)	フィンランド建築博物館
4-13	エリエル・サーリネン	国会議事堂設計競技応募案 1階平面図	1908年	原図: 29.5×34.5 (縮尺不明)	高精細複製 (原図 インク、鉛筆、紙)	フィンランド建築博物館
4-14	エリエル・サーリネン	国会議事堂設計競技応募案 立面ファサードのディテール	1908年	原図: 59.5×25.0 (縮尺不明)	高精細複製 (原図 インク、紙)	フィンランド建築博物館
4-15	エリエル・サーリネン	国会議事堂 設計競技応募案 スケッチ	1908年	原図: 25.0×34.0	高精細複製 (原図 インク、紙、縮尺不明)	フィンランド建築博物館
貨幣のデザイン						
4-16	デザイン: エリエル・サーリネン	100マルッカ	1922	11.9×13.5	印刷、紙幣	個人蔵 (キュレイターズ)
4-17	デザイン: エリエル・サーリネン	5マルッカ	1939	6.7×12.0	印刷、紙幣	個人蔵 (キュレイターズ)
4-18	デザイン: エリエル・サーリネン	10マルッカ	1939	6.7×11.9	印刷、紙幣	個人蔵 (キュレイターズ)
4-19	デザイン: エリエル・サーリネン	1000マルッカ	1945	12.0×20.5	印刷、紙幣	個人蔵 (キュレイターズ)
ムンキニエミ=ハーガ都市計画と大ヘルシンキ計画						
4-20	エリエル・サーリネン	ムンキニエミ 沿岸部の邸宅地区	1915年	原図: 136.0×195.0 (縮尺 1:500)	高精細複製 (原図 インク、水彩、紙)	ヘルシンキ市博物館
4-21	エリエル・サーリネン	ムンキニエミ 労働者層地区	1915年	原図: 140.5×132 (縮尺 1:200)	高精細複製 (原図 インク、水彩、紙)	ヘルシンキ市博物館
4-22	エリエル・サーリネン	ムンキニエミ 住宅計画	1915年	原図: 100×147.3 (縮尺 1:100)	高精細複製 (原図 インク、水彩、紙)	ヘルシンキ市博物館
4-23	エリエル・サーリネン	ムンキニエミ 労働者の家	1915年	114×100.3 (縮尺 1:100)	インク、水彩、紙、厚紙、テキスタイル	ヘルシンキ市博物館
4-24	エリエル・サーリネン	ヘルシンキ市全体図	1918年-	原図: 106×126 (縮尺 1:150)	高精細複製 (原図 インク、水彩、紙)	ヘルシンキ市博物館
4-25		ホランティライセン通りの長屋	撮影: 1916年頃	-	写真	ヘルシンキ市博物館
4-26		庭から見たホランティライセンティ通りの長屋	撮影: 2012年、ヤリ・イェツォネン	-	写真	ヤリ・イェツォネン
4-27	著: エリエル・サーリネン、M. G. ステニス社	『ムンキニエミ=ハーガ住宅開発計画と大ヘルシンキ計画』	1915	33.0×24.0	印刷、紙、書籍	個人蔵 (キュレイターズ)
その他の公共建築物						
キノ=バラツ商業ビルディング						
4-28	エリエル・サーリネン	キノ=バラツ商業ビル 断面図	1920年 (原図)	50.0×65.0	高精細複製 (原図 インク、カンヴァス)	フィンランド建築博物館
4-29	エリエル・サーリネン	キノ=バラツ商業ビル	1920年 (原図)	-	高精細複製 (原図のモノクロコピー)	フィンランド建築博物館
4-30	-	キノ=バラツ商業ビル	-	-	写真	個人蔵 (キュレイターズ)
ラハティ市庁舎						
4-31	-	ラハティ市庁舎 階段	-	9.0×12.0	写真	フィンランド建築博物館
カレワラ会館/The Kalevala House						
4-32	エリエル・サーリネン	カレワラ会館計画案 鳥瞰図	1921年	原図: 55.0×89.0	高精細複製 (原図 鉛筆、スケッチ用紙)	フィンランド建築博物館

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	素材・技法	所蔵先
4-33	エリエル・サーリネン	カレワラ会館計画案 海側からの透視図	1921年	原図：26.5×75.5	高精細複製 (原図 鉛筆、スケッチ用紙)	フィンランド建築博物館
エピソード-新天地、アメリカ-サーリネンが驚いたもの						
シカゴ・トリビューン本社ビル計画案						
E-01	エリエル・サーリネン	シカゴ・トリビューン本社ビル 国際設計競技応募案 立面図	1922年	原図：79.0×34.0	高精細複製 (原図 鉛筆、紙)	フィンランド建築博物館
E-02	エリエル・サーリネン	シカゴ・トリビューン本社ビル 国際設計競技応募案 透視図	1922年	原図：30.0×15.5	高精細複製 (原図 鉛筆、インク、紙)	フィンランド建築博物館
E-03		シカゴ・トリビューン本社ビル透視図の前の 建築家エリエル・サーリネン	1928年	原板：25.0×22.0	写真	フィンランド文化遺産局
E-04		『アーキテクチュラル・フォーラム』38号	出版：1923年2月	30.0×23.0×4.0	印刷、紙 出版：タイム社、ニューヨーク	東京大学 工学・情報理工学 図書館 工1号館図書室B
E-05		ルイス・サリヴァン「シカゴ・トリビューン・コンペティション」、『アーキテクチュラル・レコード』53巻153号	出版：1923年2月	26.0×19.0×4.0	印刷、紙 出版：マグロウ・ヒル出版社、ニューヨーク	東京大学 工学・情報理工学 図書館 工1号館図書室B
アメリカでの代表作						
E-06	-	ファースト・クリスチャン教会	-	-	写真	
E-07		ファースト・クリスチャン教会 ドローイング	-	-	写真 製図：チャールズ・イームズ	クランブルック・アーカイヴ
クランブルック・エデュケーショナル・コミュニティ、サーリネンハウス						
E-08	-	クランブルック美術アカデミー	-	原図：73.6×99.0	写真	クランブルック・アーカイヴ
E-09	-	クランブルック美術アカデミー 建築スタジオ	-	-	写真	クランブルック・アーカイヴ
E-10	-	エリエル・サーリネンと学生たち	-	-	写真	クランブルック・アーカイヴ
E-11	-	エリエル・サーリネンと建築学科の学生たち (左から4番目がエーロ、6番目がエリエル)	-	-	写真	クランブルック・アーカイヴ
E-12	-	サーリネン一家 (後列左からエーロ・サーリネン、リリー・スワン・サーリネン、フローレンス・シュスト・ノル、ハンス・ノル、中列：エリエルとロヤ・サーリネン、木馬の上：エリック・サーリネン)	-	-	写真	クランブルック・アーカイヴ
E-13	撮影：ヤリ・イェツォネン	サーリネン・ハウス 西側ファサード	2012年	-	写真	ヤリ・イェツォネン
E-14	撮影：ヤリ・イェツォネン	サーリネン・ハウス ダイニングルームからリビングルームの眺め	2012年	-	写真	ヤリ・イェツォネン
E-15	撮影：ヤリ・イェツォネン	スタジオ 手前にサーリネンの机	2012年	-	写真	ヤリ・イェツォネン
エーロ・サーリネン						
E-16	デザイン：エーロ・サーリネン	チャーリップ・チェア (アーム付チェア)	デザイン・製品化：1957年	79.0×68.0×59.0 (座面高46.0)	成形FRP、フォームラバーのクッションに布張り、アルミニウムの鑄造にポリアミド (Rilsan) ・コーティングの脚 製作：ノル・スタジオ	インターオフィス
E-17	デザイン：エーロ・サーリネン	ローテーブル	デザイン・製品化：1957年	高さ51.0、φ41.0	大理石の天板、アルミニウムの鑄造にポリアミド (Rilsan) ・コーティングの脚 製作：ノル・スタジオ	インターオフィス
E-18	デザイン：エーロ・サーリネン	チャーリップ・チェア (アームレス・チェア)	デザイン・製品化：1957年	79.0×49.0×53.0 (座面高47.0)	成形FRP、フォームラバーのクッションに布張り、アルミニウムの鑄造にポリアミド (Rilsan) ・コーティングの脚 製作：ノル・スタジオ	インターオフィス
E-19	デザイン：エーロ・サーリネン	チャーリップ・チェア (スツール)	デザイン・製品化：1957年	高さ43.0、φ40.0	成形FRP、フォームラバーのクッションに布張り、アルミニウムの鑄造にポリアミド (Rilsan) ・コーティングの脚 製作：ノル・スタジオ	インターオフィス
E-20	デザイン：エーロ・サーリネン	ウーム・チェアとオットマン	デザイン・製品化：1946年	椅子：79.0×89.0×79.0 (座面高38.0) オットマン：35.0×53.0×44.0	成形FRP、フォームラバーのクッションに布張り、スチールパイプにクローム仕上げの脚 製作：ノル・スタジオ	インターオフィス
E-21	デザイン：エーロ・サーリネン	カンファレンス・チェア	デザイン・製品化：1946-50年	79.5×66.5×63.0 (座面高44.0)	成形ポリウレタンに布張り、ウツドの脚 製作：ノル・スタジオ	インターオフィス
E-22	-	ジェネラル・モーターズ技術研究所	1945-1956年	-	写真	-
E-23	-	マサチューセッツ工科大学クレスギー記念講堂	1953-56年	-	写真	-
E-24	-	マサチューセッツ工科大学 チャペル	1953-56年	-	写真	-
E-25	-	JFK国際空港TWAフライトセンター	1956-52年	-	写真	-
E-26	-	フローレンス・ノル (左) とエーロ・サーリネン	1950年頃	-	写真	インターオフィス
年譜ほか						
E-27	-	図面台に向かうエリエル・サーリネン	撮影：1940年	-	写真	クランブルック・アーカイヴ
E-28	-	エーロ・サーリネン	撮影：1948年	-	写真	インターオフィス
E-29	-	エリエル・サーリネンと息子エーロ	-	-	写真	クランブルック・アーカイヴ